

ラッセル・クロウ

サルマ・ハエック

一番好ききな人とは、結婚しない方がいい!?

SEXと相性、恋と結婚……
決断の瞬間に揺れる恋人たちに贈る、等身大のラブ・レッスン。

ターニング・ラブ

TURNING
LOVE

リージェンシー・エンタープライゼズ提供 ロバート・グリーンウォルド作品

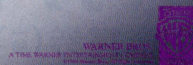
ラッセル・クロウ サルマ・ハエック "BREAKING UP"

音楽 マーク・マザーズボー 音楽監督 アレックス・シュタイアマーク 編集 スザンヌ・ハインズ 撮影 マウロ・フィオーレ

製作総指揮 アーノン・ミルチャン デビッド・マタロン 製作 ジョージ・モフリー

脚本 マイケル・クリストファー 製作/監督 ロバート・グリーンウォルド

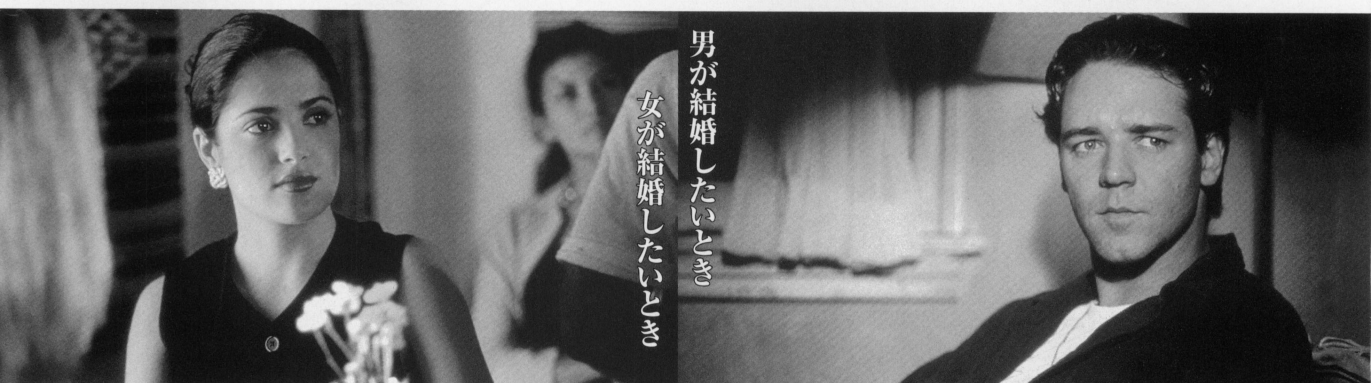
www.warnerbros.co.jp



最高の恋愛は、 本当に最高の結婚をもたらすの？

ターニング・ラブ

恋に、結婚に、そして必ず来る決断の瞬間に揺れるあなたへ。



男が結婚したいとき
女が結婚したいとき

出会った時は最高。それなのにいつからか…

スタイリッシュな恋の街・ニューヨーク。ダウンタウンを歩く、たくさんの恋人たちの中に、モニカとスティーブの姿もある。2年半前に出会って、情熱的に愛し合って、ささいなことで喧嘩をし、別れて、けれどもやっぱり電話を……その繰り返し。今度こそ、ちゃんと決めよう。結婚する。幸せなふたりの生活を始めたい。でも、どうして、こんなにも心が揺れる？ 私たちが結婚する理由は一体何だろう？そして、ついにモニカとスティーブが出したその答えは…？ いつか結婚を夢見る世界中のカップルのために、これからパートナーを見つけるあなたのために。恋人同士が一度は直面するクエスチョンに、新しい切り口としゃれた映像で展開する、新感覚ラブ・ストーリー、「ターニング・ラブ」。あなたが悩み、探している答えを、ここで探してみたい。



「L.A.コンフィデンシャル」で大ブレイク！
ラッセル・クロウが、結婚!?

世界中で悩める恋人たち必見の「ターニング・ラブ」。主人公のスティーブとモニカを熱演したのは、あの「L.A.コンフィデンシャル」で、野獣のような男臭さが魅力的と注目的になり、大ブレイクのラッセル・クロウ、そしてアントニオ・バンデラス作品「デスベラード」で鮮やかなハリウッドデビューを飾り、レブロン化粧品品のCMでもそのエキゾチックな魅力をふりまく演技派、サルマ・ハエック。この二人が、等身大の恋人たちの心の内、建て前と本音を、ありったけの情熱を込めて演じている。恋人同士ならではの妙な「クセ」やシチュエーションには、「あ～あるある!」と思わず泣いたり笑ったり。監督グリーンウォルドの細かい演出が冴え渡る。「結婚」が新しい二人の関係にどんな意味を持つかが問われる時代。すべてのラブ・ストーリーを超えて恋人たちの心をギュッと掴んで放さない、そんな映画が誕生した。



「出会った頃は最高だった。」
「だけどそこから後はサイアクなんて……」



「僕がいつも原因なのか？」
「話をすり替えるのはよして」

ターニング・ラブ
TURNING
LOVE

11月7日(土)よりロードショー!

特別鑑賞券(一般¥1600)発売中

地下鉄東銀座駅下車・駐車場完備

松竹セントラル2

03(5550)1631